

城乾コミュニティ 市長と語る会

日 時：令和 6 年 11 月 19 日（火） 午前 10 時 00 分～11 時 15 分

場 所：城乾コミュニティセンター

参加者：23 名

担当者：市長、地域担当職員【長楽（地域づくり課）、江口（建築住宅課）】、森本（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

皆さんおはようございます。今日は「令和 6 年度みんなでまちづくり。市長と語る会」ということで、お忙しい中集まりいただき御礼申し上げます。早速ごあいさつからお願いしたいと思う。コミュニティ会長から一言お願いする。

（会長）

皆さん、本日はお集まりいただき御礼申し上げます。今日から少し寒くなったが、体調崩さないようにこれからも元気で頑張っていきたいと思う。今日はお忙しい中、市長にお願いされているのでよろしくお願いします。

（所長）

続いて、市長から挨拶を。

（市長）

城乾コミュニティの皆様方には、日頃から丸亀市政運営に対し、ご理解とご協力、ご支援をいただいていることにお礼を申し上げます。今日は忌憚のない意見をしっかりとっていただければと思っているので、どうぞ今日はよろしくお願いします。

2. 意見交換

（所長）

それでは語る会に先立ち、「まちづくりは人づくり」というテーマで市長からご意見を賜りたいと思う。よろしくお願いします。

（市長）

それでは早速、テーマの「まちづくりは人づくり」の説明をさせていただきます。

丸亀市では将来を見据えて、人づくりを推進して、市民が主体となった協働のまちづくりをさらに進めるために、本年度の 4 月から協働推進部を創設した。

私が市長になり、ちょうど 4 年目であり最後の任期の年となっているが、市政運営を進めるに当たり、最も大切にしたいと考えていることは人づくりである。いつの時代においても人づくりというのがまちづくりの土台になると確信している。

そして、市民主体の持続可能なまちづくりの実現に向けて官民協働、誰もがまちづくりに参画できる環境を整え、持続可能な丸亀市を協創していきたいと思っている。丸亀市の課題解決にいろんな団体の方々が本当に協力をしてくれている。

例えば、コミュニティという団体は、まちづくりに大変寄与していただいている。各コミュニティの方々が本当にご苦労されて、いいまちを作ってくれている。

また、企業が丸亀市に対して問題解決をし、まちのにぎわいづくりなどにも取り組んでくれている。

その取り組みの具体的なことを申し上げる。まず、自治会 1 件あたり 300 円の補助金を、1 件あたり 600 円へ、もう 1 つは、自治会長の手当を約 1.5 倍に上げた。

今年の 1 月 1 日に能登で大きな地震があったが、丸亀市では 1 月 5 日から 7 月 1 日までの約半年間、毎日 3 人の職員を被災地支援のために派遣した。土日祭日、ゴールデンウィーク中も、ずっと 3 人の職員が七尾市で支援に取り組んだ。またうどんの炊き出し、4 月からは、土木技師の資格を持つ職員 1 人をまずは 1 年間派遣をして、今も下水関係を中心に仕事をしている。

東日本大震災、阪神淡路大震災もそうであったように、地域住民の助け合いが一番命を救い、そしてそのあとの生活、また復興等にも地域住民の方々の助け合いが一番大事であった。その地域意識の一層の高まりが、これからも住みやすいまちに繋がると考えている。

丸亀市としても、地域の皆様のご協力のもと、地域を中心に元気で活力あるまちづくりに向けて取り組みを進めていきたいと考えている。

それともう 1 つ、子どもの教育についてであるが、4 月から「人づくり石垣プロジェクト」を行っている。

これは 5 年間取り組む予定だが、コロナ禍で学校がかなり休校し、その影響がやはり大きいと思うが、行動制限が解けた後に不登校児童が丸亀市で約 2 倍になった。これは全国的にも同様である。また、学校がかなり休みになり、授業日数が減ったことも大変心配をしている。

今年の予算約 1 億 2,000 万から 1 億 3,000 万をかけて、小中学校の講師の先生方、支援員、補助員、スクールソーシャルワーカー、そしてまた相談業務をする O B の校長先生、そういった方々を丸亀市費で新たに雇った。目的は、担任の先生、副担任の先生方が、子供たちと向き合う時間をしっかりと取ること。それをするによって、また子供たちがコロナ前の状況に戻って欲しいと思っている。

これは教育委員会で「人づくり石垣プロジェクト」という名前をつけて、これから 5 年間まずは行う予定で、上手くいけば、その後も続けていきたいと考えている。

実は 1 年半ほど前から市費で先生方を増やしたいと話していたが、どんなに予算をつけてくれてもなり手がいないと言っていた。しかし教育長、自らが丸亀市の現状を伝え、一人一人に声をかけ直接お願いをして、予定通り雇うことができた。

今現在、学校関係の施設 14 に予算をつけている。大きいところでは城東小学校の全面建

で替え、そして城南小学校と城坤小学校の全面改修。調査等で飯山北、南小学校も大改修が全面改築しなくてはいけない。綾歌中学校の体育館も今、建設をしている。

丸亀市としては、投資的経費に 200 億を超える予算をつけている。丸亀市の予算が 400 数十億であるが、学校関係は臆することなくやっていこうと取り組んでいる。

元気なまちづくりにはやはり「人」である。

(所長)

テーマ「まちづくりは人づくり」で何かご質問がありましたら挙手いただく。

(コミュニティ 1)

不登校児が 2 倍になったということで、実数はいくつからいくつになったのか。

(市長)

今確かな数字は申し上げられない。間違っていたら申し訳ないので。

(コミュニティ 2)

もともと不登校は多いのか。

(市長)

驚く数字ではある。

(コミュニティ 3)

補足すると、この間教育委員会の説明で学校の先生が来られたが、城乾小学校でも同じような割合である。やはり個人情報との関係とかあり、きっちり教えていただけなかったが、城乾小学校の場合は外国人の方が多いので、少し事情が違っていることは言っていた。

(コミュニティ 4)

1 点だけ。答えはなくて結構である。まちのにぎわいづくり、人づくりという話をしていただいて参考になった。御礼申し上げる。

今日は城乾校区ではあるが、前々から少し気になっていたことがある。広く丸亀市内全域を考えた場合、いろんな公共施設はほとんどお城から北側に集中している。美術館や図書館は駅のすぐ近く。学生は南部にもいる。飯山は図書館などの施設はある。市長地元の川西や郡家、三条、垂水の方、人口割合から考えると飯山に負けないぐらいの人口はいる。学校やコミュニティは当然あるが、図書館という、いわゆる人づくりのためになるような施設が残念なならない。勉強などの部分でマルタスに結構みんな行っている。

そういった部分を今後考えていただいたらありがたい。やはり人づくりのためにはそういう施設も必要ではないか。

できたら幼稚園は許可してほしい。土地を買うとか、職員が少ない丸亀の場合は。今日は答えは知らない。検討していただきたいと思う。

(市長)

ちゃんとした答えにはならないが、まずは丸亀市全体のまちづくり。皆さんご存じの通り、人口はどんどん減っている。中讃地区もどんどん減っているが、私は中讃地区全部と一緒に元気になるなければいけないと思っている。その中で丸亀城から北のエリアは、歩

いて楽しいまちを目指している。4 街区の新しい市民会館は、生涯学習機能も入れて、児童館も入る。市民広場、駐車場関係もガラッと変わるが、ここに賑わいを創出し中讃地区の中心とする。

丸亀市の中でいうと、旧南部と飯山町と綾歌町にも拠点を置いた賑わいづくりの施設を作り人が集まるように、今言われたこともしっかり頭に入れながらどんどん国県から予算をとってこなくてははいけない。

3. 質問

(所長)

時間が限られているので、この人づくりについても後で時間があれば引き続き討論していきたいと思う。皆さんご存じの通り、各自治会に市長に物申したいことがある人はどうぞというところで3つチョイスしているので、そこに時間をできるだけ割きたいと思う。

(コミュニティ 5)

私たち「ストップ！蓄電池 塩屋・新浜住民の会」は、エクイスセントラルサービス・ジャパン(株)が、クラブウ跡地に系統用蓄電池システム建設計画を進めていることに、反対活動を進めてきた。

今年の3月、鹿児島県伊佐市での爆発事故についてのニュースをご覧いただく。すみません、少してこずっているようなので説明させていただく。伊佐市で今年の3月27日、同じような蓄電池システムで爆発事故があり、現在のところまだ原因不明ということで、20時間燃え続けたが手が出せず、消防士4人が火傷を負ったという事故が発生している。

クラブウ跡地に建設する系統用蓄電池システムは、全くこれと同じようなもので、この爆発した規模は7000kWと、クラブウ跡地に建設する50ギガとは、ワット数で言うと100万倍の違いの大きさである。そのくらい大きな蓄電池システムのことを考えると、火災や爆発の誘因となる原因としては高温、過充電、衝撃、落雷、浸水、これが引き金になるようである。また浸水すると感電も発生してくるようである。

(鹿児島県伊佐市爆発事故ニュース)

この恐ろしい計画が私たちの知らないうちに進みつつあった。クラブウ跡地は準工業地域であり、用途は環境の悪化をもたらす恐れのない工業の利便を図る地域とされている。ハザードマップでは、3から5メートルの浸水、洪水地域でもある。その地域に環境悪化を推進するような蓄電池システム建設に対し、丸亀市が反対できず進められていたことがとても残念である。

10月22日にエクイスセントラルサービス・ジャパン(株)の説明会に参加して以降、安心、安全なまちを守るべく、私たちは必死で反対活動を続けてきた。昨日は経済産業省に嘆願書を受理していただいた。10月28日には、丸亀市に嘆願書を持参したが、市長不在のため

副市長にお渡ししたもので、市長も目を通していただいたと思う。

このような危険と生活することに市長も反対していただけたと思うが、いかがか。エキイスセントラルサービス・ジャパン(株)が撤退するまで協力いただけるか。よろしくお願いします。

(市長)

ただいまのこと、私も大変心配をしている。私は東京へ要望に行っており、留守にしていまして申し訳なかったが、副市長と担当の方からも説明を受けた。

今の時点での答弁をすると、画像を見せていただき懸念はあるが、ただ丸亀市としてはどういう立場でどこまでのことが言えるかとなると、その懸念していることを事業所にお伝えするということと、国、県に皆様方が言われている反対の理由や懸念事項をお伝えしていく、そういう事務的な行為をするということぐらいしかできない。私が言ったことは丸亀市が言ったことになるので、一緒に強く反対することまではできないが、その内容は繰り返し伝えていく。担当の方からも説明を聞いているが、これは事業者が計画をして、国で確認される。国が補助金を出すことも決定しているところであることも踏まえて、しっかりと担当の方も勉強するようにと言っているが、そこまでの検証をするだけの知識がないというのが一つある。

それと、国が補助金を出しているということと、行政は法律が全てであるので法的根拠を丸亀市として蓄積していない中で、丸亀市の意見はこうであるということとはできない。反対をするということまではできない。

(コミュニティ 6)

今おっしゃっていることは、嘆願書を持って行ったとき、役所からそういった返事であった。ただ市としてはそういうことを踏まえながら、ああいった危険なことがあることを十分考えられることである。実際に伊佐市で事故が起こっている。

(コミュニティ 7)

この件についていろいろ調べてみたが、市長はいらっしゃらなかったので副市長に聞いていただいた。太陽発電のプラントに対して全国的に今問題が起こっており、政府は各県で条例をつくれとなっている。各県で条例をつくり、環境保全の審査をしよう。

今回は蓄電池だけで太陽光発電のパネルは置かない。その蓄電池を 50 棟置くということは、先ほどから話があったが、7 メガワットで火災が起きてああいう状態になった。今回の場合は 50 ギガで 200 メガワットなので 30 倍のものを置くということである。

政府としては、外国から安いものを入れるということで、外国の安全基準を通ったものはコンテンツにいくらでも入れてもいいとなっている。そういう大規模なものを置くという経験がない。

もう 1 つ難しいのは、パワーポイントの場合は発電だけで蓄電して供給する。系統の場合は、いわゆる電線の途中に付ける。そうすると、充電と放電の両方を繰り返すわけである。このコントロールは非常に難しく、リチウム蓄電池は過充電を起こすと問題を起こす。

そういうコントロールもあまり経験がない。

そういったパワープラントを、学校やトライアルなどたくさんの人が周りにいるところに置く。先ほどの例では、一部 100m ぐらいのところに民家があるが、周りはほとんど何も無い畑である。ここの周りは学校があり、古い町であり木造がたくさんある。あんなことが起こると、こちらは 200 メガワットで何倍もある。1 棟 1 棟で安全だというのは、外の基準で別々だから関係ない、50 棟とあろうが 1 棟あろうが一緒だという話であるが、そういうわけにはいかない。

ここは 3m から 5m 浸水もする。そうすると、もっと危ないことも起こる。水をかけると火災が起こって大変なことになり止められない。50 棟で連鎖反応が起こるとどうするのか、非常に危険を我々は感じているわけである。

それに対して事故の検証が行われていなかったという話であったが、実は経済産業省から資料が出ている。こういう事例が 9 月の時点で出ている。

そういうことがあるのでぜひ知っていただいて、基本法があり、環境法もあって安全を守らなければいけない。それでできないのであれば、新たに条例を作る必要がある。全国でもそういう動きがどんどん起こっており、ぜひ認識して今後進めていただきたい。

(コミュニティ 8)

我々が言いたいのは、こういう街中でもし不測の事態が発生すれば、学校はもちろん周辺住居が火の海になることが十分考えられる。

市として何も手だてができないのであれば、我慢するということになる。市として何もしないのか、住民を見捨てるのかという考えになってしまう。

そのところを、市としてどういうふうに考えているのか、そこをお聞きしたい。

(市長)

今言われている懸念される内容は、十分理解はできる。ただ先ほども申したように、このことを地方自治体の行政として、国が今の時点では補助金まで出している、それと民間と民間がやっていることに対して言えることは、こういうことが懸念されるので対応をきちんとやってくださいということ。設置するのは絶対駄目だということまでは言えなくても、本当に安心安全が担保できるような形をとってくださいと言いつけることは私としてもやっていきたいと考えているところである。

(コミュニティ 8)

先ほど人づくりとおっしゃったが、私 1 人の感情かもしれないが、嘆願書を持っていつて返事をもらった。書けるところはここまでかなということは分かる。でも、やはり住民を守っていくとか、そういう気持ちが全然伝わらない。

それともう 1 つ、こういう危険なものを民間がこれからもどんどん持ってくると思う。

特に今この蓄電池に関しては、法が定められていない。発電所とかであれば当然ながら環境アセスとかいろいろあるが、これは今のところは決まっていない。そういう状態で民間は法の抜け道を持ってきているわけである。

経産省から補助金もらっているから、ゼロカーボンを目指しているから、それはそれでいいが、そこを見極めていただけるような力を持って欲しい。大きな危機管理である。地震とかではない、人的な危機管理。やはり見極める力が欲しい。

市の方から我々に沿って、一緒になってやっていただきたいというのが本音。以上である。

(所長)

時間も押しているのが、この問題に関して私も蓄電池の横に住んでいる住民なのでこちら側から言わせていただく。この場では収まらないような問題であるので、市長との窓口を設けていただけないか。ここで討論するのは時間がかかるし、他の問題もあって他の方も言いたいこともある。これはこの辺で押さえてもらって、市長がもし蓄電池の横に住むと思われて、市長としてはそういうお答えであろうが、松永個人としてはどうなのかはまた別だと思うので、そういう窓口を作ってもらえるのはどうか。市長だけの問題ではないと思う。市役所の中にこの問題でここに行ったらいいという窓口を設けてほしい。

(市長)

ゼロカーボン推進室で対応させていただくようになる。

(コミュニティ 9)

ゼロカーボンの方にも行って、いろいろ話を聞いた。言いたいのは、研究しているかということ。何も調べもせずに進めていっている気がしてならない。そののところは何かしないといけないと思う。

(コミュニティ 10)

条例によって、蓄電池システムを水没するようなところに置かないということがあるが、それは何にも役に立たないのか。

(市長)

私もそこまでの勉強をしていなくて申し訳ない。

(所長)

住民としてはこのまま黙って建ってしまったら悔いが残る。ずっとその施設が子供の代まで残る。

クラボウの土地は、マンションの 1 つも建っていないようなところで、そういうところに負の遺産と言ったらいいのか、私たちはそう思っているが、そういうのを皆さんに知ってもらいたい。すごく大事なことだと思う。皆さんご存じであったか。こういうことが起こっていることをご存じであったか。

(コミュニティ 4)

知っていた。

(所長)

賛成か。

(コミュニティ 4)

賛成とか反対とかいう話でない。あなたは進行役である。

(所長)

2つ目は私が出したデマンドタクシーのことであるが、もし意見がなければ時間がないので割愛したいと思う。

次3つ目、公園の整理をきちんとしてもらいたいということで、この意見を出された方。

(コミュニティ 11)

平成18年に大阪から新浜町に転居して参り、坂出緩衝緑地の管理責任者として長年従事してきた経験から申し上げる。塩屋緑地が居住地のすぐ近くにあり、とてもいいところだと第一印象思った。環境が整っていて、いいところに越してきたと思った。先ほど申し上げたとおり、造園関係に長年従事していたので、その経験上塩屋緑地を拝見すると、結論から言うと年々悪化してきている。

市長は、まちづくり人づくりとおっしゃっていた。近年、市役所周辺の公園等でいろんなイベントが開かれるなどして、子供たちの場を設けられているのは非常に好ましいことだと思うが、ただ、遠隔地になってくると野放図な状態になってきている。

その一番の要因が、近年の猛暑渇水、さらに、業者の資質によるのかどうかかわからないが、公園の草刈等が劣っている。そういうことで、公園に遊びに来たくても遊びに行けない子供たちがいることがよくわかった。

手前勝手の話であるが、番の州公園もご存じだと思うが約20年前は本当に鬱蒼として危険な公園だと地元の方々から言われていた。見通しが悪く、草刈等も行われてなかった。指定管理者であるので民間の力で公共施設を管理するという技術で行った結果、非常に利用の需要が高まってきた。

なぜ公園の利用が高まったかという、見通しに影響する高さ2メートル以下の枝葉を除去することによって、安全だと感じられた方々がお見えになられ、活性化の一つに繋がった。

一番頭を悩ませたのは、その切った木をどうしようかということであつたが、それまでは焼却処分場へお金をかけて処分していたが、近年の循環型管理に変えた。きっかけは平成27年の台風11号。軒並み木々が倒れたり折れたりして、その費用が予想だにしていないくらいであつたので、一案として新聞広報紙等で薪ストーブの薪に提供しようということを行い、非常に人気が高まった。さらに丸亀市の方からも問い合わせが来た。

何が言いたいかというと、やはり見通しのよい公園施設であつて、草刈等もきちんとされるような業者。業者に付度されているのではないかと思うような節もあり、塩屋緑地は長年同一業者がそういった管理を行っている。何かエリア分けをされているか、そこら辺はわからないが、ただ1点香川県単独で見ると、丸亀市は公園管理者が農薬取締法を守ってないと言われているので、襟を正していただきたい。

丸亀城の石垣の補修工事に伴って既存の樹木を伐採し、それを薪に提供されたという実績を拝見して、同じような取り組みされていると思う。

塩屋緑地はパブリックの信号から西側のエリアで 73 本、東側で 36 本の立木が枯れている。怖いのは、高さ 8 メートルの枯れ木が県道側にあり、倒木したら完全に車両側にいく。そのように、枯れ木の事故が近年増えてきているので、配慮していただくようお願いする。

担当課の方に申し上げたら、人手がないからとはっきり言われた。その辺の方針は、やはり部署に携わるプロとしての立場で、先ほどの蓄電池の件についてもそうであるが、担当課の方がしっかりとその辺を認識されなかったら、幾ら我々が市長に要望しても通じないと思う。その辺だけよろしく願います。以上である。

(市長)

私自身、市長就任前から、市民からの要望として公園の充実をたくさん聞いており、私もそのような思いを持っている。

今言われた塩屋緑地、そしてまた蓬莱町の海のところにも市の公園があるが、正直言ってひどい状態ということを知っている。今の状況でいうと枯れ木があつて、造園業者の方にパトロールも全部委託をしているわけであるが、今までの予算では思うようなことができないので、そこを是正していく、今日言われたような形を指示していく。

これも予算が必要なものであるので、今までの予算から大幅に変えることは、なかなか難しいが、このことは取り組んでいこうと思う

先ほど言われた、人数が足りない、職員が足りないのは事実であるが、造園業者の方々にしっかりやってもらうようにすればいい。あとは予算と、それをどういうふうな体制でやっていくかということを構築する。

(コミュニティ 11)

市長の答弁は大体想像できていた。ただ 3 年前から枯れている木がずっとほったらかしなのはどうか。事故が起こって子供が怪我したらどうなるのか。

(所長)

時間がきたが、市長申し訳ないが少しだけ時間をいただいてもいいか。せっかく来られているので、短く要望や意見を言うだけ。答弁は求めないということで、時間を設けたいと思う。

(コミュニティ 12)

時間が押しているので要望だけ。城乾小学校から北への市道に、落葉樹が 20 本くらいあるが、10 日くらい前に木の枝を落としていただいた。住民が毎日掃除していて大変なことになっている。

去年の 11 月に丸亀原田線の無電柱化工事事業説明会ということで、南条町も関係あったので出席させてもらった。その中で何が問題かという、歩道の樹木が大きくなって根が張って、歩道が盛り上がっている。これはやはり高齢者にとって非常に危険だと思う。それと先ほどの話に戻るが、その説明会の中でこれは国県も絡んでいるが、担当者が言うには緑がなくても困らない。その中で住民の要望からあまり大きな木はいらない。城西高校

の前や丸亀駐車場の前にハナミズキの木があるが、この木は2・3メートルぐらいであり大きくならない。こういう木に植え替えていただければ。大きくなりすぎ支障が出てきているので、その辺は近くの住民としては考えていただきたい。よろしくお願いします。

(コミュニティ 9)

まず初めに人づくりの話があった。大変なお金をかけて5年計画で学校教育にもものすごく力を入れていただき感謝する。学校教育に携わったものとして非常にありがたいと思っている。

1つお礼であるが、私がコミュニティ会長をしていた5〜6年前に、西幼稚園の存続問題があった。私は2回ほど、PTA会長として嘆願書を市長に持って参り説明した。佐藤さんも来ているが、その時に私どもとしては西幼稚園の存続か、もしくはこども園の新設か、ぜひここに子供たちの教育施設をそのまま残して欲しいということであった。

おかげで、今年から立派なこども園を作っていただき、感謝申し上げる。園長を中心にもものすごく子供たちが楽しい生活を送っている。西幼稚園は130年近い歴史あり、その歴史を受け継ぎつつさらに良い幼稚園を作っていただけたと思っている。

人づくりということで、城乾の子供たちが非常に少なくなっている。私が校長をしていたことから考えて、約150名程度では活性化した学校教育は非常に難しいと感じる。そうだったことで、少し難しい校区の問題と統廃合の問題も、検討いただきたいと思う。

もう1つは闇バイトによる強盗や殺人の問題が関東地方で起こっている。地域の住民としては心配である。先日も夕方に廃品回収的なものが各家庭に回ってきたこともあった。非常に心配なことが多いわけである。

やはり市の仕事として地域の安心安全が非常に大事だと思うが、防犯カメラを必要とところにぜひ。お金が必要で大変なことだと思うが、安心安全な生活ができることを考えていただきたい。

それともう1つ、ごく身近なことであるが市の大事な仕事として広報活動があると思う。市の広報紙を出されているが、それと同時に何回かスピーカーによる放送がある。放送をしてくれているが、風の影響などでなかなか聞き取れない。以前から何とかして欲しいと出ていた。難しいと思うが、今から地震など緊急を要する問題出たときにスピーカーが必要になってくると思うので、何とか聞こえやすくできないか、願います。

(コミュニティ 13)

先ほど校区割の話があったが、この校区割はどうなっているのか学校教育委員会に聞きに行くと、それは外に出せないと言われたが、聞きに行ったら出してくれるということで聞きに行った。

コミュニティ単位で校区割する方が一番いいと思うが、例えば隣の中府町は、5丁目の中の15番地と5番地、14番地の少しだけは城乾校区となっている。コミュニティのみんなですべてまとうまいという話をしている中、このような校区割について、検討してくださいと言っていたと思うが、これらの検討を誰がやっているのか全然わからないし、住民を

呼んでの検討もないと思うので、これをもっとわかりやすくしていただきたいと思う。

あと 1 点、丸亀市役所の敷地内は禁煙ではないのか。市役所の敷地内からと思われる副流煙が東中の方に流れており、生徒が被害にあっている。そういうことは把握されているか。人づくりの面からいうと、子供たちに害を及ぼすことはやめていただきたいと思うので要望する。

(コミュニティ 14)

お年寄りのサロンをやっているが、防災でまち歩きをする。避難ビルは元魚市場の一番上だが、その北側にケミカルタンカーがたくさん泊まっている。岡山側の作業の待ち時間で泊まっていたと思うが、高潮津波等が起きたときに全部こちらの方に来たときにどうなるかを考えると気になる。まち歩きをしても、港の中に漁船がたくさんいる。ああいったものが打ち上がってきたときに、平山でもし火を使っていたら火の海になる。

逃げるまでの余裕がないという話が出るが、港湾は国の管理か。何回も聞くが、本当にケミカルタンカーはあそこに止めなくてはいけないのか。岡山の企業の都合で止めているのかどうか分からないが、回答ができるのであればお願いしたい。

(コミュニティ 15)

先ほどソーラーパネルで蓄電施設が燃えたとあったが、まず津波が来るのなら蓄電設備の立地を高いところにする、あるいは防波堤を高くすることで防ぐことができると思う。それと消火に水が使えないなら、消火器の粉末のドライパウダーや泡消火、炭酸ガス消火。

ただし建築費はたくさんいる。それさえ解決すれば、立地することはそんなに困難ではないと思う。業者の方は高くなるので、するかしないかの話。そういうことを市の方で考えていただきたい。水と津波の対策があれば解決するという私の考えであるが、参考になれば。

(所長)

すみません。お叱りを受けて、進行上、申し訳なかったと思うが、皆さん意見も言っていただき、市長との距離は近づいたと思う。ぜひ年に 1 度とは言わず、こんな感じでよかったら半期に 1 度、こういう場を設けていただきたいという感想である。市長はどうお感じになったか。

(市長)

実際に現場、その地域の本当の生の声を直接聞け、よかったと思っている。市としてどこまで本当にその成果が出せるか、これは真摯にしっかりと取り組んでいくことだと思う。今日は本当に貴重な時間たくさんの方から意見をいただき、御礼申し上げます。

(所長)

引き続きコミュニティ活動にご協力いただきたい。よろしくお願いします。